

ガイド養成講習会  
「机上編」開催

12月10日(日)に八峰町白神ガイドの養成講習会「机上編」を行いました。ガイドを目指す参加者が集まり、ガイドに必要な知識を学びました。また、講習には能代高校科学部の生徒が部活動の一環として参加しました。内容は以下の通りです。

「町内観光(施設等)」についてをテーマに板谷大樹氏(NPO法人八峰町観光協会)が、観光実態の紹介や八峰町の地域資源についてワークショップを行いました。参加者は5人でグループを作り、自然、食、伝統行事、イベントなどについて、八峰町にはどんなものがあるか意見を出し合いました。地域資源を知ることで、町全体の案内が出来るガイドを目指しました。ワークショップでは、知らない情報は参加者同士で教え合い、例えば八峰町の伝統行事について「石川駒踊り」や「本館たいまつ祭り」が挙がっていました。また、気づいたことの発表を行い、八峰町の観光の特徴について一年間を通して山と海の自然

が魅力」「冬季のイベントが少ない」などの意見が出ました。その後、「ガイドとしての心構え」と題して辻正英氏(八峰町白神ガイドの会)がガイド時の留意事項や安全管理について説明しました。ガイド時の安全を確保するために、救急セットなど装備品をしっかりと準備することや、ガイドする場所ごとに異なる注意すべきことを把握する必要がありますを説明しました。



ワークショップで意見を出し合う参加者たち。

そして、今月もジオパーク全国大会に参加した能代高校生たちの声を紹介します。八峰白神ジオパークを通して地域に関心をもっていただければと思います。

山内 海人(二年)

10月25日から27日にかけて、日本ジオパーク全国大会がありました。僕たち能代高校科学部はこの大会でガイド役を務めるために八峰町の講習会に参加しました。

全国の人たちに白神山や白瀑神社を知ってもらうために、ポスターの下書き作りが大変でしたが、白神山や白瀑神社の魅力写真・文章・ガイドなどで伝えることが出来たと思います。27日の白瀑神社でのガイドはとても緊張しましたが、祀っている神などの説明を分かりやすく伝えることが出来ました。自分たちの活動が今後の活動につながってくれたらうれしいです。

加藤 美羽(一年)

ジオパークという言葉すら知らなかった私ですが、活動を重ねるにつれ、意欲的に取り組むことが出来ました。今回は白瀑の成り立ちについて調べてガイドをしました。ジオパークの魅力は、調べ学んでいく過程が、

その地域の良さを知ることにつながるという点にあると思います。地形や歴史について詳しく調べていくうちにどんどん興味を持っていく自分がありました。もう一つ、今回ジオパークの

全国大会に参加して分かったことがあります。それは、ジオパークに携わっているみなさんは自分の住む地域が大好きで、とても生き生きしているということです。きっとジオパークに触れることは地域を好きになるきっかけにもなるのだと思います。ぜひ多くの人にジオパークのことを知ってもらいたいです。



八峰町の観光資源を発表する高校生。

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086